

災害時におけるペットの救護対策ガイドライン <目次>

総説

- ① ガイドライン作成の背景及び目的……………1
- ② 適用範囲及び前提事項……………2
- ③ 今後起こりうる災害に備えた動物救護対策について……………2
 - ① ペットとの同行避難を進めるための飼い主への啓発……………2
 - ② 自治体等が行う動物救護活動の考え方……………3
 - (1) 動物救護に係る法制度の整備状況
 - (2) 自治体等による動物救護活動の必要性

本編

- ① 平常時及び災害時におけるそれぞれの役割……………7
 - ① 飼い主の役割……………7
 - (1) 同行避難
 - (2) 災害避難時における飼育管理
 - ② 自治体の役割……………9
 - ③ 地方獣医師会の役割……………16
 - ④ 民間団体・企業の役割……………17
 - (1) 民間団体
 - (2) 民間企業
 - ⑤ 現地動物救護本部等の役割……………19
 - ⑥ 緊急災害時動物救援本部の役割……………20
 - ⑦ 国の役割……………21
- ② 災害に備えた平常時の対策、体制の整備……………23
 - ① ペットの災害対策に関する飼い主等への普及啓発……………23
 - (1) 普段の暮らしの中での防災対策
 - (2) ペットのしつけと健康管理
 - (3) ペットが迷子にならないための対策（マイクロチップ等による所有者明示）
 - (4) ペット用の避難用品や備蓄品の確保
 - (5) 避難所や避難ルートの確認等
 - (6) 災害時の心がまえ
 - ② 避難所・仮設住宅におけるペットの受け入れ配慮……………39
 - (1) 避難所におけるペット同行避難者の受け入れ
 - (2) 仮設住宅におけるペットとの同居

3	動物救護体制の整備、動物救護施設の設置に係る検討	44
	(1) 動物救護体制の整備に係る検討	
	(2) 動物救護施設の設置に係る検討	
3	災害発生時の動物救護対策	55
1	初動対応	55
	(1) ペット同行避難者等への対応	
	(2) 現地動物救護本部等の設置及び初動対応	
2	避難所・仮設住宅におけるペットの飼育	60
	(1) 避難所におけるペット同行避難者の受け入れ	
	(2) 仮設住宅におけるペットとの同居	
3	保護が必要な動物への対応	77
	(1) 負傷動物の救護	
	(2) 放浪動物の保護・収容	
	(3) 飼い主からの依頼に基づく一時預かり	
	(4) 飼い主への返還	
	(5) 新しい飼い主への譲渡	
4	動物救護施設の設置、運営管理	86
	(1) 動物救護施設の設置及び形態	
	(2) 動物救護施設の体制整備	
	(3) 収容動物の飼育管理	
	(4) 収容動物の健康管理	
	(5) ボランティアの活用	
5	広報・普及啓発	95
	(1) 避難住民に対する啓発活動	
	(2) 保護動物に係る情報提供	
	(3) 動物救護活動に関する情報提供	
6	動物救護活動の終息の考え方	99
4	動物救護活動を支えるもの	101
1	人材の確保、ボランティア（個人・獣医師・民間団体）との連携	101
2	物資の備蓄・提供、救援物資の受付・配布	104
3	資金の確保、義援金の募集・配布	105
	資料編（様式は CD-ROM 添付）	107